

鞍手高等学校 英語CAN-DO リスト (入学から卒業時の到達目標)

《卒業時の学習到達目標》 日常生活や社会問題における幅広い話題についての内容を理解し、自信をもって自分の考えを英語で発信でき、英語話者とある程度流暢にやりとりができる。

時期		1学年		2学年		3学年		
科目		「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」		「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅱ」		「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅱ」		
学習到達目標		言語の背景にある文化を理解した上で、積極的に言語活動を行い、話し手や書き手の意向を理解したり、自分の考えを表現したりすることができる。		言語の背景にある文化を理解した上で、積極的に言語活動を行い、情報や考えを的確に理解したり、適切に伝えたりすることができる。		言語の背景にある文化を理解した上で、積極的に言語活動を行い、情報や考えを的確に理解したり、事実や意見を論理展開や表現方法を工夫しながら適切に伝えたりすることができる。		
分野	評価	1学期～2学期中間	2学期期末～3学期末	1学期～2学期中間	2学期期末～3学期末	1学期～2学期中間	2学期期末～3学期末	
5 技能	外国語理解の能力	◆ 定期考査(筆記)	◎ 日常生活の身近な話題(スポーツ、弁当など)や社会問題(絶滅危惧種など)についての実用的・具体的な文章の要点を理解することができる。	◎ 抽象的な文章や人物の人生を描いた伝記から具体的な情報を取り出すことができる。	◎ 文と文、段落と段落のつながりに注意し、論理的な文章の展開を意識して、文章全体の流れを把握することができる。	◎ 書き手の意図を的確に捉えるために、細部まで読み込み、具体的な情報を読み取ることができる。	◎ 社会問題や研究など様々なトピックを扱った文章を、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	◎ 日常的・社会的な話題について、自分の力で文章の展開に注意しながら、必要な情報を読み取り、要点や詳細を捉えることができる。
		◇ 英単コンクール						
		◆ 日々の課題	◎ 100語前後の教科書の本文を、辞書を使いながらゆっくりと読めば理解することができる。発音に注意して正確に音読することができる。	◎ 100語前後の教科書の本文を、ディスプレイマーカーに注意して内容を理解することができる。	◎ 初見の教科書の本文を、文のまとまりで区切って正確な発音で音読することができる。	◎ 教科書の本文を、自然な速さで正確に音読しながら内容を理解することができる。	◎ 初見の文章でも、意味を理解し楽しんで読み、書き手の意図を踏まえて音読することができる。	◎ 共通テストレベルの長文を時間内に読み設問に答え、7割程度正答できる。
		目標 wpm (読書速度)	100 wpm		125 wpm		150 wpm	
	聞くこと	◆ 定期考査(リスニング)	◎ 授業中の挨拶やクラスルームイングリッシュを理解し、指示通りに動くことができる。	◎ 100語前後の教科書の本文を5回程度聞いて、重要な単語を聞き取り、大まかな内容を聞き取ることができる。	◎ 身近な話題についてALTが発音や語彙に配慮しながら話せば、内容を理解することができる。	◎ 話し手が話す内容が、どのように進行していくか、要点を示す語句や文、つながり示す語句に注意して聞くことができる。	◎ 自然な速さの標準的な英語で話されていけば、ALTとの会話の要点を理解することができる。	◎ ある程度情報量がある内容について、自分の力で話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、要点や詳細を捉えることができる。
		◇ リスニング活動						
		◆ ALTとのやりとり	◎ 基本的な母音や子音の発音を意識して聞き、判別することができる。	◎ ある程度まとまりのある文章における音の強弱・脱落・連結を意識して聞き、大まかな内容を理解することができる。	◎ 対話やスピーチの文を2回程度聞いて、大まかな内容を聞き取ることができる。	◎ 説明文や討論などといった文の内容を聞いて、細部を理解することができる。	◎ ニュースや講演、インタビューといった多様な形態の状況から、メモを取りながら情報を聞き取ることができる。	◎ 共通テストレベルのリスニング問題を7割程度正答できる。
	書くこと	◆ 定期考査(筆記)	◎ 日常的事や自分のことについて、基本的な語句や文を用いて、スピーチやプレゼンテーションの原稿を書くことができる。	◎ 日常の出来事について英単コンクールで学んだ英単語や辞書を用いて、短い文章を書くことができる。	◎ 主題を含む序論、根拠や具体例、理由を含む本論、文全体の要約をする結論を含む複数の段落からなる英作文を書くことができる。	◎ 相手に伝わりやすい文章となるように、構成を工夫し、同じ事柄を多様な表現で言い換え、複数の段落からなる英作文を書くことができる。	◎ 理由や根拠の適切さを精査して、論理性を高めるための準備を行い、まとまりのある英作文を書くことができる。	◎ 社会性や専門性の高い話題について、読み手を説得できるよう自分の立場を明らかにしながら論理的に書くことができる。
		◇ 英単コンクール						
		◆ AnAn(例文暗唱)	◎ 30語～50語程度のまとまりのある文を書くことができる。	◎ 50語～70語程度のまとまりのある文を書くことができる。	◎ 70語～90語程度のまとまりのある文を書くことができる。	◎ 90語～110語程度のまとまりのある文を書くことができる。	◎ 100語～120語程度のまとまりのある文を書くことができる。	◎ 100語～120語程度のまとまりのある文を書くことができる。
	外国語表現の能力	◆ AnAn(例文暗唱)	◎ 挨拶や自己紹介(趣味や特技)など基本的な語句や表現を使って、短い文章を話すことができる。	◎ 相手の意見をしっかりと聞き、相づちを打ったりしながら、自分の考えを主張し、ディスカッションすることができる。	◎ 教科書の本文に関する口頭質問について、文レベルでゆっくりと答えることができる。	◎ 課題解決の際、相手から得た情報から、相手の意向を理解して、自分自身の要望を伝え、互いが納得する解決策を導き出すことができる。	◎ あるテーマに関して、グループ内でも取り出した内容を整理して発表したり、比較・検討してさらに感想や考えを述べることができる。	◎ 相手の意向を理解しながら、自分自身の気持ちや考えを伝え、話題を発展させながら即興でやり取りをすることができる。
		◇ ALTとのやりとり						
◆ ディベート		◎ 基本的な語句や表現を用いて、ALTと日常的な挨拶や会話を行うことができる。	◎ 事前準備をした上で、話題に対し賛成か反対の立場に立って自分の意見や考えを理由とともに主張し、ディベートをすることができる。	◎ ディスカッションにおいて、自分と相手の意見や観点を比較・対照させながら、意見を主張することができる。	◎ ディベートにおいて、あるテーマに関して重要性が高い根拠やデータを引用しながら、自分の意見を主張することができる。	◎ あるテーマに関して、聞き手を説得できるような複数の資料を準備して、それらを有効的に活用しながら、ディベートをすることができる。	◎ 社会性や専門性の高い話題について、聞き手を説得できるよう自分の立場を明らかにしながら論理的に話すことができる。	
話すこと「発表」	◆ スピーチ	◎ 前もって発話することを留意した上で、自分の将来や夢・希望、自分の気持ちなどについてスピーチすることができる。	◎ 日常的事や話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。	◎ ある話題について、読んだり聞いたことをもとに、発表に必要な語彙や表現、発話の仕方を工夫して発表することができる。	◎ ある話題について、前もって発話することを留意した上で、情報や考え、気持ちを理由や根拠とともに詳しくスピーチすることができる。	◎ アイコンタクトやジェスチャーを交えて、その場の状況に合わせて、流暢に英語でスピーチすることができる。	◎ 日常的・社会的な話題について、自分の考えや気持ちを理由や根拠とともに発表し、質疑応答をすることができる。	
	◇ プレゼンテーション	◎ 前もって発話することを留意した上で、情報や考え、自分の気持ちなどをプレゼンテーションすることができる。	◎ 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。	◎ 相手が話した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を述べ合ったりすることができる。	◎ 口頭での発表、視覚資料を使った発表、ポスターセッションなど、多様な形態でのプレゼンテーションができる。	◎ アイコンタクトやジェスチャーを交えながら、新情報を相手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションができる。	◎ 相手と状況に応じて、発表内容や発表の方法を工夫し、相手を引き付けるような発表をすることができる。	
到達レベルの目安(CEFR)		A2【英検準2級・GTEC700～999】(35%)		A2【英検準2級・GTEC700～999】(65%)		A2【英検準2級・GTEC700～999】(80%) B1【英検2級・GTEC1000～1249】(10%)		